３．パネルディスカション～2050ビジョンが描く学会の姿～

パネリスト：
秋田 典子（千葉大学／学会副会長）
奥森 清喜（（株）日建設計）
小篠 隆生（(一社)新渡戸遠友リビングラボ）
吉江 俊（東京大学）

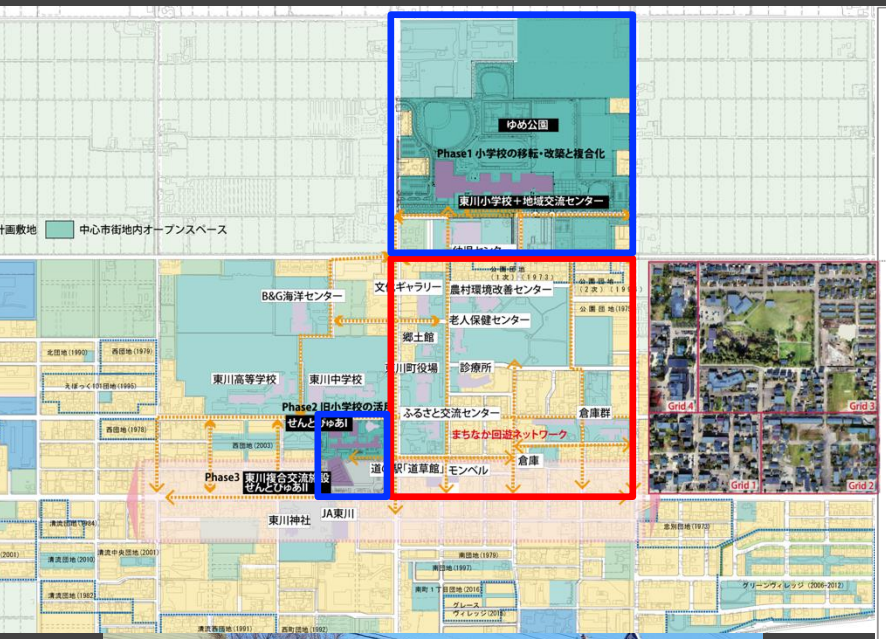
コーディネーター：中島 弘貴（東京大学）

３．パネルディスカション
～2050ビジョンが描く学会の姿～

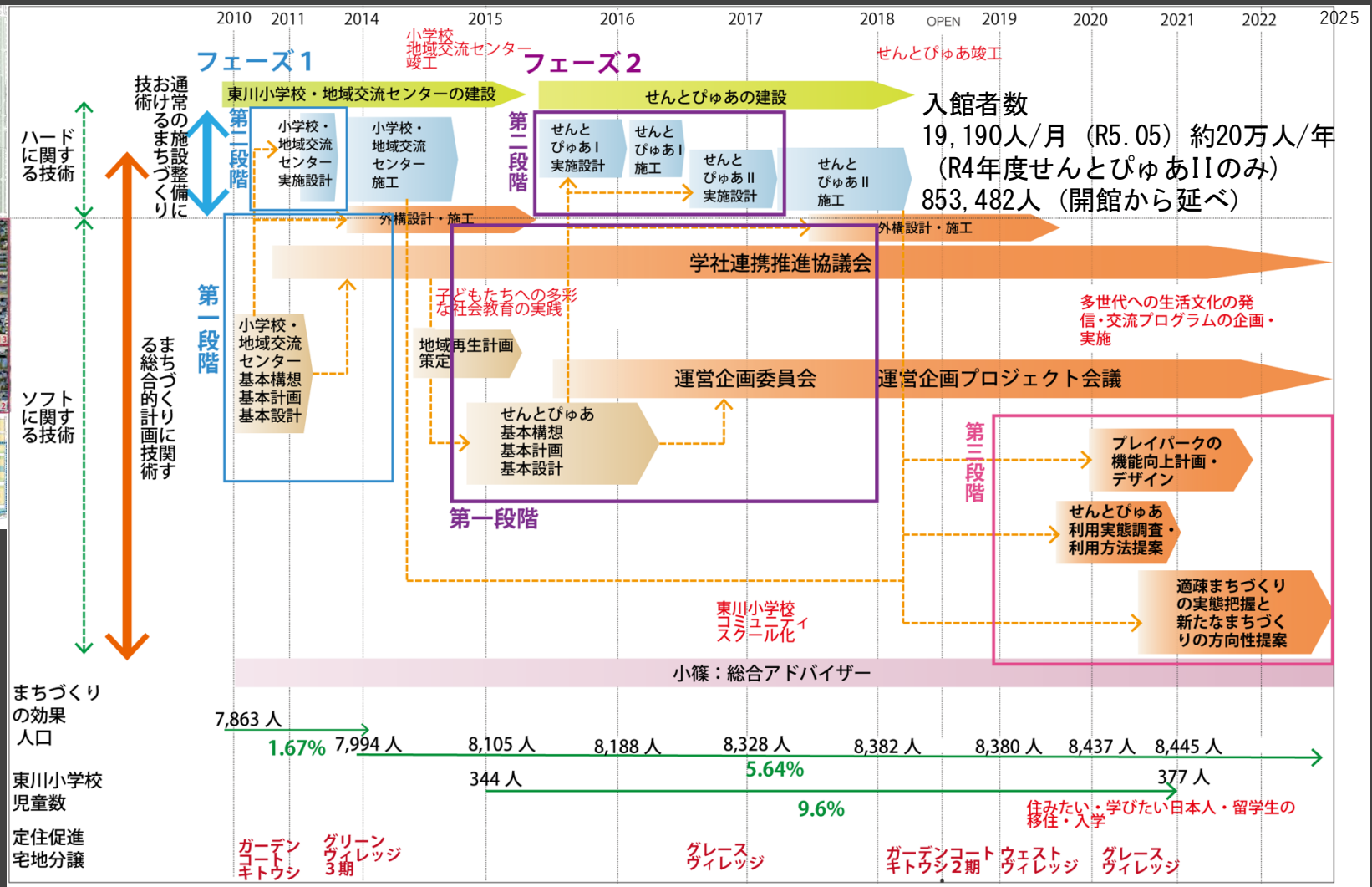
こちらのQRコードを読み取りいただき、
パネルディスカッションに関するご意見、ご質問をお寄せください。

小規模自治体におけるまちづくり（東川町の連鎖的適疎まちづくりの実践）

総合的計画プロセスとその効果







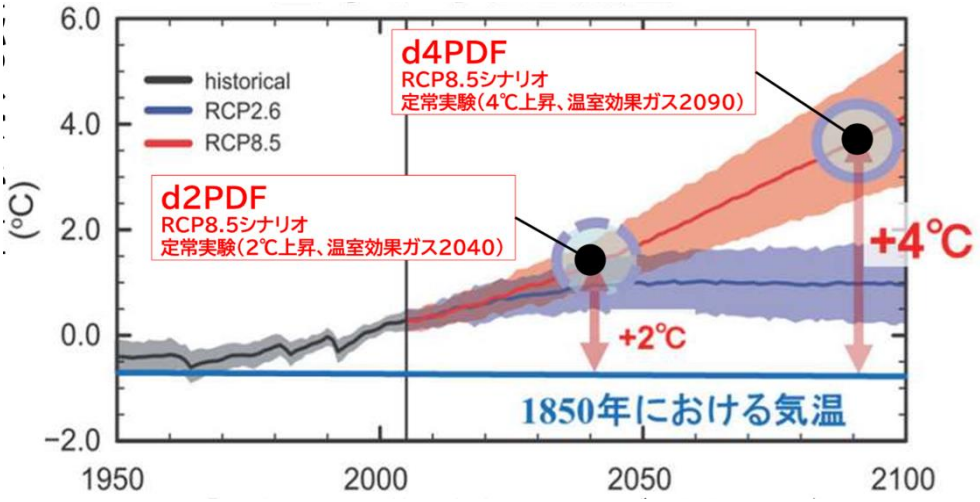
Grid番号	敷地面積[㎡]	建築物フットプリント面積[㎡]	建物面積比率[%]
1	49069.72877	10517.13088	21.43
2	50576.3689	11158.86606	22.06
3	160204.6403	21713.7496	13.55
4	42964.66836	8560.377985	19.92
平均			19.24

	敷地面積[㎡]	建築物フットプリント面積[㎡]	建物面積比率[%]
せんとぴゅあ	28711.42	5769.25	20.09
東川小学校＋地域交流センター	42124.01	11336.74	26.91
（ゆめ公園含）	200000.00	11336.74	5.67
平均			23.50

●既存市街地の街区における建物面積密度は約20%となり、旧小学校、新小学校の敷地に関する建物面積密度とほぼ合致

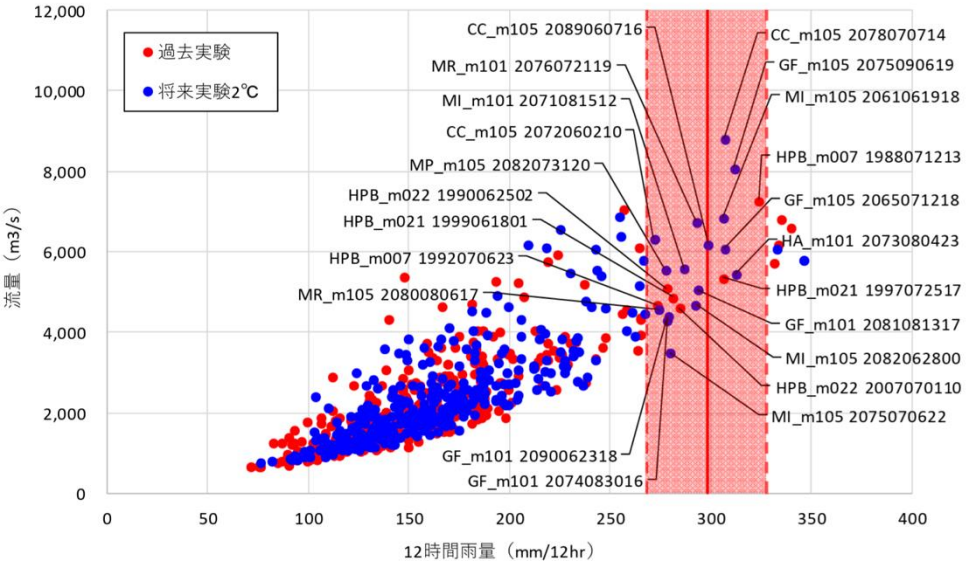
20%という数値の持つ意味

都市計画と未来予測:緻密な予測の先にある判断



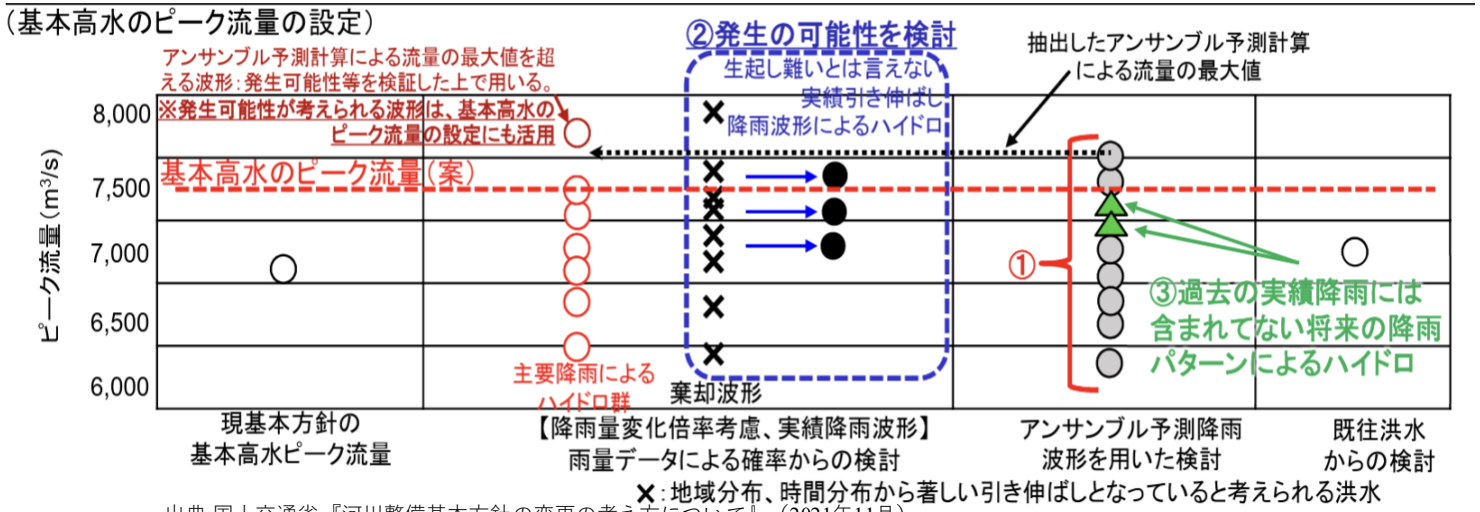
出典:国土交通省『河川整備基本方針の変更の考え方について』（2021年11月）
https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouiinkai/kihonhoushin/dai116kai/06_sankou1_kangaekata.pdf

図1.気候変動シナリオ（RCP）とd4PDF・d2PDFの実験条件



出典:国土交通省『球磨川水系河川整備基本方針-基本高水に関する資料』（2021年3月）
https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyo_keikaku/gaiyou/seibi/pdf/kuma/05_kuma_takamizu_R312.pdf

図２.過去・将来のアンサンブル予測降雨波形による12時間雨量とピーク流量の関係（球磨川水系・人吉地点）



出典:国土交通省『河川整備基本方針の変更の考え方について』（2021年11月）
https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouiinkai/kihonhoushin/dai116kai/06_sankou1_kangaekatapdf

図3.基本高水の設定における降雨波形の採否と総合的判断



出典:毎日新聞(2026.8.14)「千葉の大雨一夜明け-被害の様子」
https://mainichi.jp/graphs/20260814/mpj/00m/040/022000f/20260814mpj00m040024000p

図4.2026年8月千葉豪雨

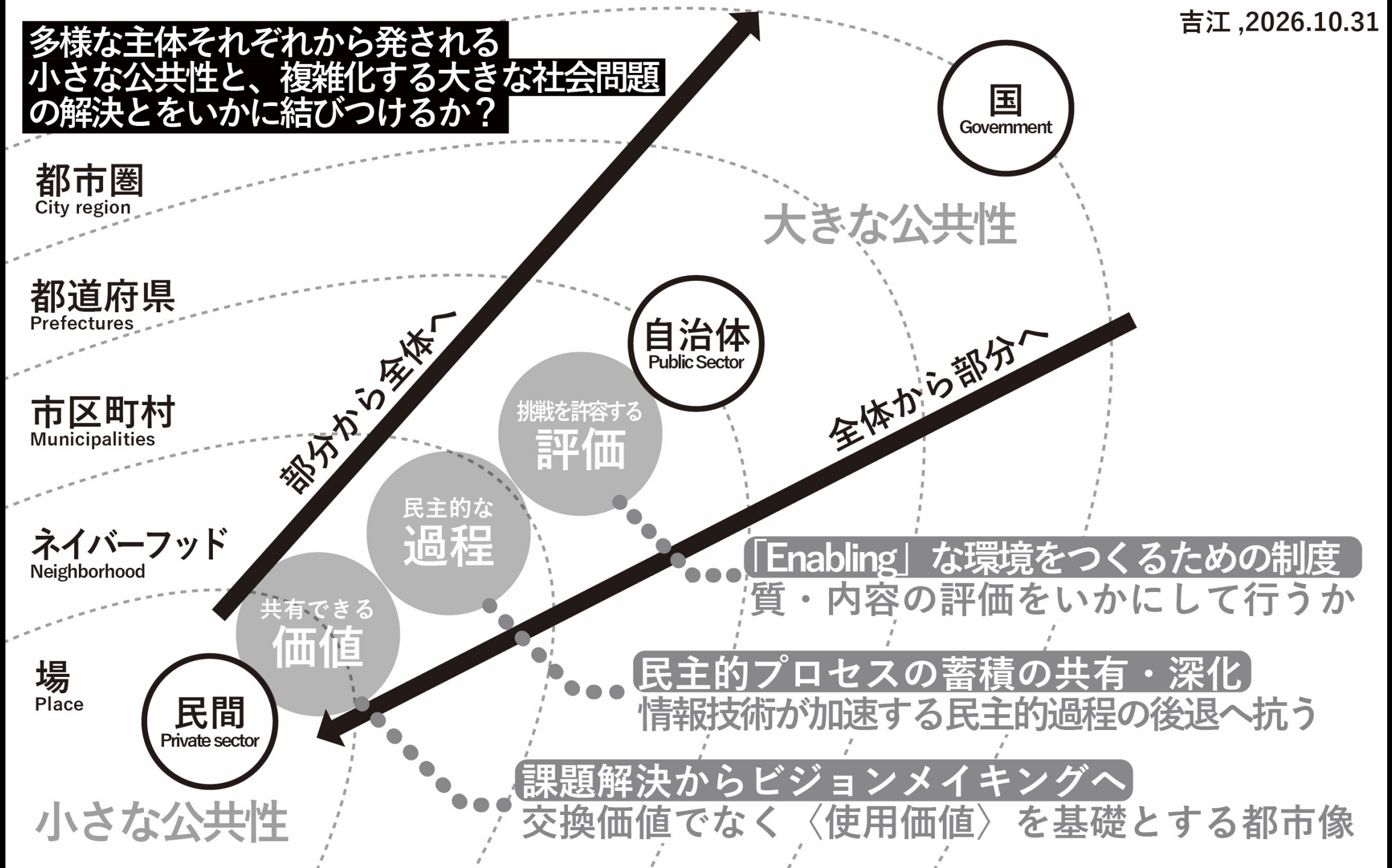
科学的に未来を予測する／専門家として未来を決める

① 幾重もの仮定を前提
② 科学は可能性の幅を提示
③ 可能性を計画に転換する専門家の判断
④ 判断をいかに社会と共有するか

科学的未来予測の先にある未来を創造する役割

吉江 ,2026.10.31

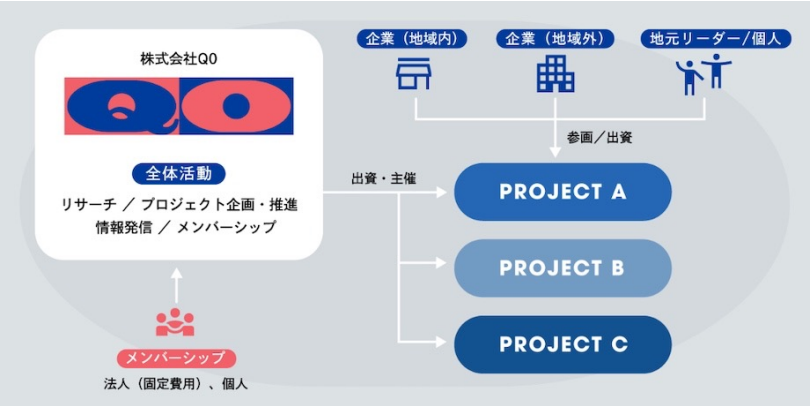
多様な主体それぞれから発される小さな公共性と、複雑化する大きな社会問題の解決とをいかに結びつけるか？



「Enabling」な環境をつくるための制度
質・内容の評価をいかにして行うか

民主的プロセスの蓄積の共有・深化
情報技術が加速する民主的過程の後退へ抗う

課題解決からビジョンメイキングへ
交換価値でなく〈使用価値〉を基礎とする都市像



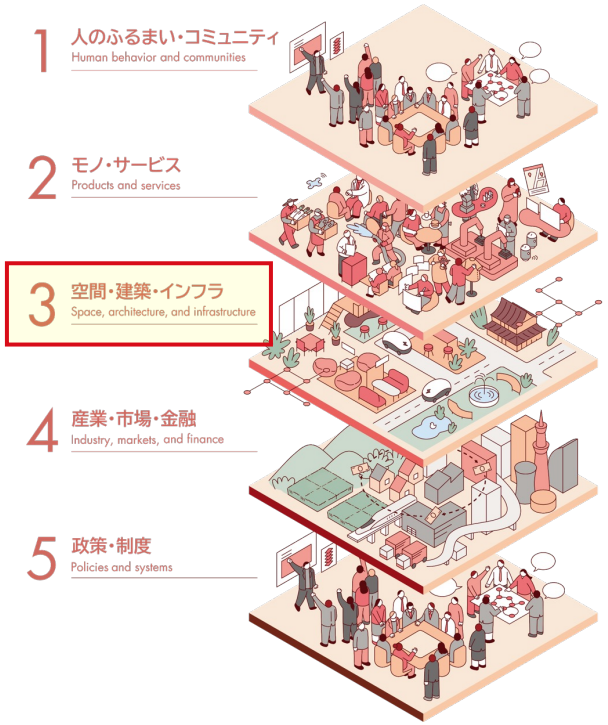
Q0：
「地方と都市の新しい関係をつくる」
Q0の取り組み

SOUZOUNO MORI
ソウゾウの森
一人ひとりの木が対話を重ねながら、
ひとつの森をつくっていく





COI-NEXT：
秋田公立3大学を中心とした連携を支援







ゼノベ ZERO ENERGY RENOVATION：
古いビルの環境性能と経済価値を両立する環境改修
モデルを実装

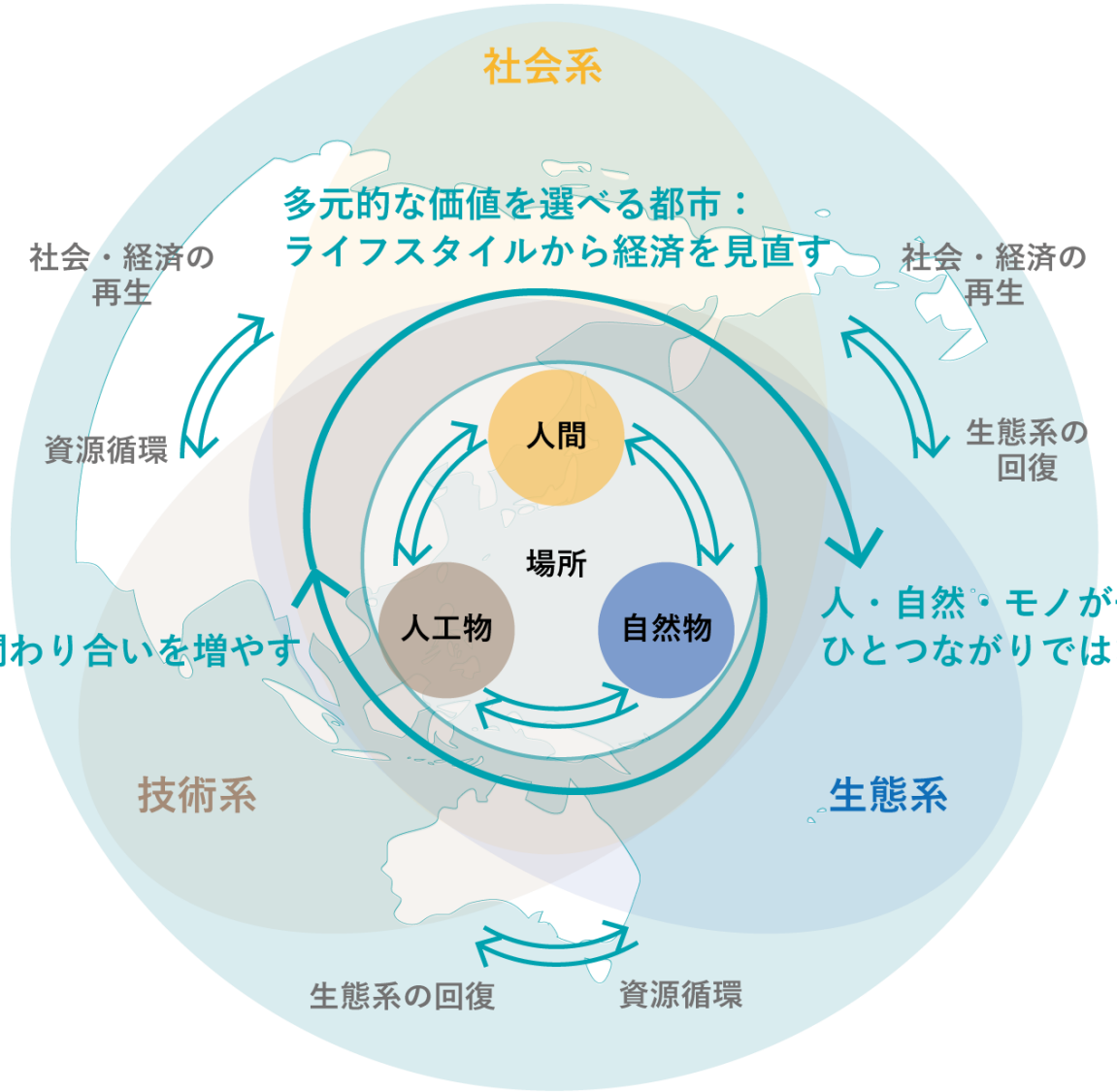
PYNT：
まちの未来に新しい選択肢をつくる共創プラットフォーム
◀5つのレイヤーで多層的に社会環境デザインを実践



日本・台湾・韓国シンポジウム
東アジア都市再生の担い手
～日本・韓国・台湾における
コーディネーターの可能性～

３．パネルディスカション
～2050ビジョンが描く学会の姿～

こちらのQRコードを読み取りいただき、
パネルディスカッションに関するご意見、ご質問をお寄せください。



自律できる都市：
人・自然・モノとの関わり合いを増やす

人・自然・モノが一体となった圏域：
ひとつながりではない地域を再編集する

都市の変革能力の醸成：自ら変わり続けてよりよくなる都市地域

４．まとめ

小泉 秀樹
（東京大学／学会長）